

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和6年度事業点検・評価調書

5-Ⅱ-3

5-Ⅱ-3

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	伝統文化の記録保存と情報発信
節	Ⅱ. 伝統文化・地場産業の振興	事業主体	佐渡市社会教育課
事業(施策)名	3 伝統文化記録保存	関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡文化財団
事業実施期間	H28～R6		
事業概要	【事業目的】 ○ 地域の伝統文化の映像記録保存により、伝統文化の保存継承を図る。 【事業内容】 ○ 島内各地で行われている祭りや地域の伝統文化・伝承を映像により記録保存を行い、地域文化のデータベースを構築する。 【本計画終了時点のゴール】 ○ 佐渡文化財団等と連携しながら祭り等の芸能動画の記録を保存する。芸能動画記録数35本。		
これまでの取組実績	○ H29年度～30年度にかけて、佐渡の伝統芸能を網羅的に記録保存するための「佐渡伝統芸能アーカイブ」を制作した。 ○ H31年度以降は、新たな資料の掲載だけではなく、情報発信コンテンツとしての活用や教育用コンテンツとしての活用、観光用コンテンツとしての活用など、単なるデータの蓄積ではなく多方面に結びつけた利活用を図り、伝統芸能の保存継承に寄与するコンテンツとしている。 ○ 祭り等の鬼太鼓や人形芝居など、新たに5本の芸能動画を記録した。 ○ 佐渡文化財団が、各地の祭りや人形芝居などの伝統芸能映像と、芸能継承に尽力されている方へのインタビュー映像等伝統芸能に係る映像を記録した。		
事業計画と実績	【R6年度計画】 ● 佐渡文化財団と連携し、佐渡民謡の祝祭や人形芝居親子教室などの伝統芸能担い手育成に向けた取組みに合わせた伝統芸能の記録保存を行う。 【R6年度実績】 ● 佐渡文化財団が、各地の祭りや人形芝居などの伝統芸能の映像を新たに39件記録した。		
事業評価	【ゴールに対する計画終了時の達成度】 〔A・B・C〕 ◇ 35本の記録芸能動画を目標としていたところ、120件以上の保存を実現できた。島内のみならず県外からも問い合わせがあるほど、アーカイブとしての役割を全うしている。引き続き記録と保存を行い、動画の充実を図る。		
課題	■ 記録した映像記録以外にも数多くの伝統文化があるため、さらに記録保存を進めるとともに、伝統文化の保存継承を図るためには記録データの蓄積にとどまらず、多方面に結びつけた利活用を図る必要がある。		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。